

科目名	ピアノ演奏家奏法研究Ⅰ～Ⅷ	形態	実技	開講期	春・秋
担当教員	実技担当教員	単位	3	年次	1, 2, 3, 4

＝授業科目の目標＝

ピアノ二台による作品の演奏とお互いの響きを聞く事でアンサンブルをし、響きの豊かな、より説得力のあるパフォーマンスができる事を。自分の音色はもちろん、相手の音色に反応し、二人だけの音色を創り上げる事、作品に適切な表現ができる事を目標とする。

＝履修の条件と学習の方法＝

各自のレベルに合う楽曲を教員と共に選ぶ事。読譜を確実にし、二人の解釈を見つける為に、一度は音源を聞き、形式を分析する努力をする事。分析方法、練習方法などわからなければ自分達から教員に相談する事。欠席する場合は、事前に必ず教員に連絡を入れ、単独でのレッスンも可能か確認し、相互理解を深める事。

＝授業内容＝

(2年次)

- 1期 各自のテクニックをお互いに知り、同時に音が出せる事を目標に、二人にあった選曲をします。たとえばクリスチャン・バッハ、モーツァルト等の中から。ペダル使用の少ない作品からお互いの音を聞くという基本の修得に努めます。
- 2期 古典派の作品を教材に、今後の演奏技術向上に向け、パフォーマンスへの理解を高めます。

(3年次)

- 1期 ロマン派の作品を中心に、二台ピアノ作品の音色の充実の修得に向けレパートリーの拡大に努めます。
- 2期 2台ピアノの可能性にチャレンジする。オーケストラ作品の中から選び、音色の探求を目標とする。

(4年次)

- 1期 自由に選曲し、二人がお互いを知り、個性のぶつかり合いを通して、説得力豊かな演奏を目標とする。
- 2期 お互いがお互いを認め、その事がより豊かな表現への糸口となり、大曲への挑戦を目標とする。

＝成績評価の方法と評価の基準＝

実技試験期間中に公開演奏をし、担当教員より評価を受けます。積極性、協調性や出席状況等総合的に判断されます。一定の実技レッスンの出席が充たされない場合は公開演奏資格がありません。

＝その他＝

特になし